

第1回理事会議事録

議事録作成者：専務理事 古城資久

- 1 日 時：令和元年5月11日（土）14時～18時
- 2 場 所：J国際学院ビル（大阪市）6階教室
- 3 出席者：【理事】佐々木健治、古城資久、石本直樹、三浦重則、安楽友宏、大森 了
沖浦耕治（敬称略、順不同）
※理事総数：10名、本日の出席理事7名
※三浦理事が仕事の都合で17時に退席、以降、出席理事6名
【監事】安原 徹、辻 恵（敬称略）
※監事総数：2名、本日の出席監事2名
【陪席】北野利雄、善本光彦、二宮正晴、松谷昌典（敬称略、順不同）

4 開 会

定刻通り、代表理事佐々木健治が席につき、本会は有効に成立した旨を告げて議案の審議に入った。

5 議 事

5. 1 第1号議案「平成30年度事業報告書案」の審議

- ・石本副会長より平成30年度の実業報告書案について報告がなされた。
- ・競技の普及・振興に関する事業、組織基盤の確立に関する事業について詳細説明がなされた。審議の結果、平成30年度事業報告書案について方向性・骨子が認められ、資料中の誤字・脱字等微調整の上、内閣府に提出することが出席理事全員一致で承認された。

5. 2 第2号議案「収支決算書案、過年度修正案」の審議

- ・松谷事務局長から平成30年度の決算書案、過年度修正案について報告がなされ、安原監事によって補足がなされた。
- ・過年度修正案について、決算書作成中「ゆうちょ銀行」の残高に不自然な点がみられたため、調査を行ったところ、平成29年11月の時点で残高のズレが見つかった。公益総研に確認したところ、過年度決算書の修正が必要とのことであり、金額を訂正した修正案を作成した。
- ・平成30年度決算書案については、前受金の減少がみられ、正味財産期末残高は895万円となった。この金額は、平成31年度の会費等集金は4月着金であり、財務諸表が改善した主な要因であったと考えられる。しかし、現金については、平成29年度中に支払われた平成30年度分の会費等は、平成29年度中に既に使用されていたため、余剰がある状態ではない旨の報告がなされた。
- ・審議の結果、収支予算書案・過年度修正案は出席理事全員一致で承認された。

5. 3 第3号議案「役員改選について」

- ・佐々木代表理事より役員選考委員会の設置について説明がなされた。
- ・理事の選考は石本氏、監事は安原氏、正会員代表を中村氏及び保富氏と定め、選考委員長を中村氏とした。

- ・審議の結果、役員選考委員会人事は出席理事全員一致で承認された。
 - ・専門委員会人事は以下の通り。
 - ①広報委員長の荒川氏辞任、奥谷氏が委員長就任、広報副委員長に風張氏就任
 - ②国際委員会副委員長の南氏辞任
 - ③フェアプレイ委員兼組織委員の中田氏辞任
 - ④倫理委員会委員長に弁護士賀川氏が就任、有吉氏は辞任
5. 4 第4号議案「2019年度世界ベンチプレス選手権大会について」
- ・来日予定選手のうち、支払い期日までに事前送金が完了している国は5分の1程度しかなく、当日現金での回収が必要となった。
 - ・また、ドルを円へ換金する際、マネーロンダリング防止のための上限規定にかかってしまい、すぐに円へ換金できない場合がある。この場合、資金繰りの問題が生じる。臨時的にドル建ての外貨口座を作り外貨のまま入金することで問題を回避することとした。大会後には解約するものとする。
 - ・大会保険について、ホテルで開催することから破損時の賠償が高額になることが予想され、賠償額を1億円とした。傷害保険については日額入院3千円、通院2千円のものとした。
 - ・審判員役員の謝金額は日本スポーツ振興センターの助成規程に従うものとする。
 - ・2019年度世界選手権大会に関する上記事項について、審議の結果、出席理事全員一致で承認された。
5. 5 第5号議案「個人登録費変更について」
- ・古城専務理事より、次年度の個人登録費について、現行の1万円から2千円引き下げて8千円とする提案がなされた。
 - ・パワーリフティング協会の個人選手登録費は、スポーツ団体としては高額な部類に入り、引き下げを実行した場合の試算が示された。試算では昨年度台帳の個人選手登録は590名であり、本年度も昨年同様の登録数が確保できた場合、減少する収入は約60万円程度である。
 - ・この金額は事業予算からみると支弁できる額であり、審議の結果、出席理事全員一致で賛成承認され、社員総会に諮ることとなった。
5. 6 第6号議案「アンチドーピングに関する提案」
- ・大会時にアンチドーピングの誓いを唱和する提案がなされた。
 - ・ドーピングはスポーツの価値を損ねるものであり、宣誓は日本パワーリフティング協会としてアンチドーピングの姿勢を明確にするものである。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。
 - ・ドーピング発生時の制裁金金額の見直し、ドーピング防止相談窓口の設置、ホームページに相談のための連絡先掲示やホームページを用いたアンチドーピングキャンペーン等について提案がなされた。
 - ・審議の結果、実施のための方向性骨子が示され、詳細については医科学委員長の蜂須氏と相談の上、決定することとなった。

5. 7 第7号議案「ローグ社の器具公認について」

- ・二宮氏よりローグ社の器具申請について審査結果の報告がなされた。IPFの公認器具であり、JPAの公認器具の定めに従っていることが説明された。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

5. 8 第8号議案「公認器具賛助会員の報告」

- ・善本氏より、3月理事会において、賛助会員費の入金が確かめられなかった公認器具販売会社の件について報告がなされた。
- ・公認器具販売会社の担当者は協賛継続の意思を示したので、今後においてもJPA主催大会において公認器具として使用することが出席理事全員一致で承認された。
- ・賛助会費支払いがない場合の公認器具使用期限について、ブロック大会以上の規模の大会では2年後には使用禁止とし、県大会については公認取り消し後も使用可能。今後、規程類の改訂を行うこととする。
- ・ローグ社より賛助会員の新規申し込みがあったことを踏まえ、審議の結果、出席理事全員一致で承認となった。

5. 9 第9号議案「指導者育成委員会より日本スポーツ協会指導者育成制度の変更について」

- ・大森理事より公認指導者の制度変更等について報告がなされた。
- ・競技別指導者資格の名称変更、受講時間の変更、事業を「委託」形式として行うなどの制度変更や報告のほか、今後は都道府県からの推薦によって受講できるよう内部システムの変更について提案がなされた。
- ・審議の結果、出席理事全員一致で承認され、社員総会で報告することとなった。

5. 10 第10号議案「広報委員会ホームページ等情報管理に関する提案」

- ・ホームページのアカウントおよびメールアカウントのパスワード脆弱性について報告がなされた。
- ・現状のパスワードは非常に簡単なものであり、不正アクセスによる被害が出かねないものである。乱数発生による16文字以上の英大小文字と数字を混在させたパスワードと置換することでセキュリティレベルを上げる提案がなされた。
- ・現状の各委員会メールアドレスは個人のものを利用しており、情報発信信頼性の面からもオフィシャルのドメインを利用すべきとの提案であった。各委員会からの要請に応じアカウントを発行するもので、必要な部門に貸与する提案がなされた。
- ・問い合わせ先のメールアドレス公開について、現状のようにホームページ上にメールアドレスを公開していると、スパム攻撃を受ける可能性が高く、新たにフォームを設置する提案がなされた。フォームに入力された問い合わせは、自動転送され該当する委員会が回答することができるよう情報共有がなされる提案であった。
- ・パワーリフティング振興を目的とする情報の追記、ルールやマナー、外部に向けた情報の積極的な発信をするページを増設する提案がなされた。
- ・審議の結果、前述提案は出席理事全員一致で承認された。

5. 11 第11号議案「組織委員会管轄の専門委員会規程の改訂案」

- ・「専門委員会規程」改訂のポイントは、次の通り。
 - ①委員長の選任に際して、委員長の候補者に関する略歴書と理事の推薦状を理事会に提出しなければならない。
 - ②又、理事が委員長を兼任する場合、他の理事が推薦状を理事会に提出しなければならない。
 - ③改訂は、平成31年4月1日に遡って施行される。
- ・全国大会の参加人数増加により、参加標準記録を上げることが審議された。
 - ①オペレーションの面から、ジャパクラシックパワー大会は参加人数が約200人程度となるよう標準記録を設定する。
 - ②また、ジャパクラシックベンチ大会は約300人程度となるよう標準記録を設定することとなった。
 - ③今年度については、標準記録の設定時期が過ぎているため、大会を分散して開催することで運営することが検討された。
 - ④クラシックパワーはサブジュニア・ジュニア・オープンとマスターズに分け別会場で行うこととした。マスターズについてはスポーツマスターズ週間にて開催する。クラシックベンチはマスターズ・サブジュニア・ジュニアとオープンに分け、別の会場で開催することが検討された。
- ・審議の結果、改訂案と大会の分割実施は出席理事全員一致で承認された。ただし、標準記録に関しては、担当委員会で議論を継続することとした。

5. 12 第12号議案「フェアプレイ委員会管轄の競技者等に関する規程の改訂案」

- ・改訂案のポイントは、競技者が処分検討対象者になっている場合の定めが「競技者等に関する規程」になく、選手登録の停止及び国内外の公認競技会への出場停止、運営参加、協力、補助、セコンドを含む選手支援等の禁止、講習会、研修会等への参加禁止の内容を追記すること。
- ・審議の結果、改訂案は4月1日に遡って施行することで、出席理事全員一致で承認された。

5. 13 その他の審議事項、報告等

(1) 倫理委員会答申について

- ・阿南前技術委員長の問題事案として、会議と称した十数件の会食及び佐々木正会員の社員総会入場を阻止した2点について、倫理委員会は正会員資格の4年間停止、選手・審判等資格の4年間停止を答申した。
- ・尚、阿南正会員からは、5月9日付正会員辞任届が会長宛てに郵送されていた。
- ・審議の結果、正会員の辞表を受理、選手・審判資格の2年間停止へ軽減する決定がなされた。

(2) 助成金交付事業にかかわる旅費及び諸謝金規程の改訂について

- ・松谷事務局長より、「助成金交付事業にかかわる旅費及び諸謝金規程」の宿泊費上限について、現状1万円に設定されており、「旅費、日程に関する規程」上限1万2千円と金額齟齬が報告された。
- ・「旅費、日当に関する規程」では国内宿泊料金の単価上昇がみられたことから、宿泊費の引き上げがなされた経緯があり、助成金交付事業の宿泊料金上限についても1万2

千円へ改訂する必要がある旨説明がなされた。

- ・審議の結果、出席理事全員一致で引き上げ案が承認された。

(3) 3月15日の内閣府立入検査について

- ・松谷事務局長より、内閣府立入検査の結果について理事会への報告がなされた。
- ・齟齬のあった規程類改訂、シクミネット導入による入金系統の明確化、出金系の決裁システム導入によって不明瞭な支出を無くすなど、短期間での改革について方向性が評価されたのではないかと感想を述べた。
- ・改善すべき点は数多くあり、これからも課題を解決しながら組織運営をする旨の発言がなされた。

(4) 財務委員会の角印について

- ・善本財務委員長より、財務委員会の角印制作完了の報告がなされた。
- ・今まで財務委員会の角印は制作されておらず、賛助会員への請求・領収等で印鑑を使用する旨説明がなされた。

(5) 各委員会の開催時の経費使用について

- ・前年までは財政の健全化が課題であり、経費についても執行が停止されている状況であった。
- ・本年度は財務改善が予想されることから、北野組織委員長より経費使用の是非について質問があった。
- ・審議の結果、各委員会開催時における経費について、規程どおりの執行を認めることが出席理事全員一致で承認された。ただし、潤沢な資金がある状況ではなく、引き続き節減に務めることが確認された。

(6) 世界ベンチ選手団の承認について

- ・成田市で開催される2019世界ベンチプレス選手権大会の選手団名簿について報告がなされた。
- ・審議の結果、世界ベンチ選手団名簿は出席理事全員一致で承認された。

(7) 世界クラシックパワーの団長手当

- ・石本理事より、6月3日から15日までスウェーデンで開催される世界クラシックパワー大会は長期にわたって滞在できる団長が不在のため、サブジュニア・ジュニア、オープン、マスターズのカテゴリ1名ずつ合計3名の団長に委嘱し、約2週間の管理監督を依頼する旨の報告がなされた。
- ・通常1週間程度で15万円支給としている団長経費のため、今回は2週間分の30万円を3名に対して分割支給する提案がなされた。
- ・審議の結果、1名10万円支給の団長手当案は出席理事全員一致で承認された。

(8) I P F世界会議出席者推薦について

- ・石本理事よりI P Fの世界会議出席者について、伊差川氏の推薦がなされた。また、旅費宿泊費の支給対象とすることが報告された。
- ・審議の結果、出席理事全員一致で伊差川氏の会議出席が承認された。

(9) 世界ベンチE Cメンバー懇親会について

- ・石本理事より、諸外国の世界選手権ではE Cメンバーを招待して懇親会が行われている。成田の世界ベンチプレス選手権大会においても懇親会を行うか否かの質問があった。
- ・審議の結果、成田世界ベンチ大会においても懇親会を設定することが認められた。

(10) 賛助会員の承認について

- ・善本財務委員より、賛助会員の更新状況について報告がなされた。
- ・審議の結果、出席理事全員一致で承認された。

(11) 次回総会について

- ・2019年度定時社員総会は、6月9日(日)14時から、大阪市内のJ国際学院で開催予定。

以上をもって議案の全部を終了したので、佐々木健治代表理事は19時に閉会を宣した。
上記の議決を明確にするため、出席代表理事及び出席監事が次に記名押印する。

平成31年5月11日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

出席代表理事 佐々木 健治



出席 監 事 辻



出席 監 事 安原 徹

